

児童を代表し、決意を述べる(右から)迫彩華さん、奥田悠太君＝関市富之保、武儀小学校



武儀小開校「思いやり大切に」

○…武儀小学校の開校式では、2～6年生96人が新たな気持ちで式に臨んだ。

同校は武儀東、武儀西小学校が統合し、児童数は109人。式では、森正昭教育長から清水茂樹校長に校旗が手渡された。

清水校長は「たくさんの友達をつくり、未来に向かって夢や希望を持って生活しましょう」とあいさつ。児童を代表し、6年生の迫彩華さん(11)と奥田悠太君(11)が「思いやりを大切に、優しく接したい」などと述べた。

技術者目指し精進 中日本航空
専門学校



新入生を代表し、決意を述べる村田修一さん(手前中央)＝関市迫間、中日本航空専門学校

○：中日本航空専門学校（関市迫間）では、新入生197人が航空産業の担い手を目指し、決意を新たにした。

内訳は航空整備科115人、航空生産科26人、エアポートサービス科56人。海外留学生は過去最多の8人を受け入れた。

安藤弘治校長は「良き人間性を備えた立派な技術者になることを約束してください」と辞す。新入生を代表し航空整備科の村田修一さん(18)が「人間性豊かな技術者を目指して自己を磨き、勉学に精励すること誓う」と決意を述べた。

新たな出会い
夢膨らむ一步

中濃各校で入学式

中濃各地の小、中学校や専門学校などで7日、入学式が行われ、新入生たちが期待に胸を膨らませながら第一歩を踏み出した。4月に学校統合した武儀小学校(関市富之保)では、開校式が開かれ、新たなスタートを切った。(浜田悠、佐名妙予、河合修)



入学への決意を述べる新入生代表の岩屋良明さん＝美濃市曾代、県立森林文化アカデミー

過去最多48人入学

県森林文化アカデミー

入学への決意を述べる新入生代表の岩屋良明さん＝美濃市曾代、県立森林文化アカデミー

れまでで最も多い48人が入学した。新人生は森と木のクリエーター科25人、森と木のエンジニア科23人。涌井史郎学長は「これからは『衆』の時代から責任ある『個』の時代。個を磨き、社会と向き合い、本学での学びを糧として社会課題を解決する先導者としての自覚を持って学んでほしい」と式辞。新人生代表で森と木のクリエーター科の岩屋良明さん(55)「郡上市出身」が「古里に戻り、山林を相続し、手入れが行き届かない山林や林業従事者の減少などの課題を知った。豊富な山林資源の生かし方を学び、コロナ後の新たな時代を担う人材になりたい」と決意を述べた。

2年ぶり友達増えた

小川小に新入生
「算数を頑張る」

○：郡上市明室小川の小学校では、2年ぶりに新1年生が入学した。在校生3人が学校生活の魅力を紹介し、新たな仲間を迎え入れた。

小川地区は約60世帯が暮らす山あいの集落で、在校生はわずか3人。複式学級

を導入しており、本年度からは1、3年と5、6年がそれぞれ同じ教室で学ぶ。

式では、1人の新入生の國原由華さん(6)が6年生に連れ添われて入場。在校生が紹介する一輪車や冬のスケート、花壇の花などの説明に聞き入った。学校生活に向けて、國原さんは「算数を頑張りたい」と目標を話した。



在校生に迎え入れられた國原由華さん(手前)
＝郡上市明宝小川、小川小学校